

# 阿蘇の草原キッズになろう！

## 活動を行う団体

独立行政法人国立青少年教育振興機構国立阿蘇青少年交流の家

## 活動の実施場所

阿蘇の草原（熊本県阿蘇市）

## 活動の概要

世界最大級のカルデラ地形の上に広がる広大な「阿蘇の草原」は牛馬の放牧地として、また、刈り取った草は牛馬の飼料や茅葺き屋根の材料として利用されてきました。この草原を維持するために、阿蘇の人々は大きくなった草木を焼き払い、草原の初期の状態に戻す作業として「野焼き」を行いながら、1000年にわたり「阿蘇の草原」を守ってきたのです。この「阿蘇の草原」は素晴らしい景観を生み出しているとともに、多様な動植物の生育の場所となっています。



火入れ体験



火消し体験

阿蘇郡市内の子供たちが、阿蘇の草原環境の現状を学び、草原を維持する活動を実際に体験することで、草原環境を保全しようとする意識を高めることを目的に実施しています。2017年度は、小学生4年、5年生合計173名が参加しました。

事前学習として、野焼きについての学習や、火消し棒づくりを行った上で、たいまつづくりや、野焼き体験を行います。

野焼きに携わる人々との出会いを通して、いろいろな生き方や考え方に気づき、地域をよりよくしようとする意識も育ちます。

地域で専門的に活動している団体や野焼きボランティアの方の協力を得て実施されました。野焼きの服装についても事前に参加者に配布し、準備ができなかった参加者には交流の家にある上着を着用して、安全を確保しながら実施しました。

参加者は、阿蘇の草原の大切さを学ぶとともに、自分も草原保全に関わっていきたいという意欲を養うことができました。



事前学習時の火消し棒づくり